

モ、可爲キ事无キ者ナメリト思ヒ下シテ、皆谷ニ入ニケリ、然テ八十餘人ノ者各思シキニ隨テ、諍ヒ分チ取テケリ、取テ、何ニト云フ者无ケレバ、心靜ニ思ヒケルニ、水銀商高キ峯ニ打立テ、敢テコト、モ不思タラヌ氣色ニテ、虚空ヲ打見上ケツ、音ヲ高クシテ何ヲ遲シ遲シト云ヒ立テリケルニ、半時計アリテ、大キサ三寸計ナル蜂ノ怖シ氣ナル、空ヨリ出來テ、ブニト云ヒテ、傍ナル高キ木ニ枝ニ居ヌ、水銀商此ヲ見テ、彌ヨ念ジ入テ遲シト云フ程ニ、虚空ニ赤キ雲ニ丈計ニテ、長サ遙ニテ、俄カニ見ユ、道行ク人モ何ナル雲ニカアラント見タルニ、此ノ盜人共ハ取タル物共拈ケル程ニ、此ノ雲漸ク下テ、其盜人ノ有ル谷ニ入リヌ、此ノ木ニ居タリツル蜂モ立テ、其方様ニ行ヌ、早フ此ノ雲ト見ツルハ、多ノ蜂ノ群テ來ルニ見ユル也ケリ、然テ若干ノ蜂盜人毎ニ皆付テ、皆螫殺シテケリ、一人ニ一二百ノ蜂ノ付タラムダニ、何ナラン者カハ堪ムトスル、其レニ一人ニ二三石ノ蜂ノ付タラムニハ、少々ヲコソ打殺シケレドモ、皆被螫殺ニケリ、其ノ後蜂皆飛去ニケレバ、雲モ晴ヌト見エケリ、然テ水銀商ハ、其ノ谷ニ行テ、盜人ノ年來取貯タル物共多ク、弓、胡錄、馬鞍、著物ナドニ至マデ、皆京ニ返リニケリ、然レバ彌ヨ富増テナム有ケル、

〔宇治拾遺物語〕^七今はむかし、父母もまうともなく、つまも子もなく、たゞ一人ある青侍ありけり、すべきかたもなかりければ、觀音たすけ給へとて、長谷にまゐりて、御前にうつぶし伏て申けるやう、此世にかくてあるべくは、やがてこの御まへにてひまに、まなん、もし又おのづからなる、便もあるべくば、そのよしの夢を見ざらんかぎりは、出なまじとて、うつぶしふしけるを、寺の僧みて、こはいかなるもの、かくては候ぞもの喰所もみえず、かくうつぶし、たれば、寺のためけがらひいできて、大事になりなん、たれを師にはまたるぞ、いづくにてか物はくふなどとひければ、かくたよりなきものは、師もいかでか侍らん、物給はる所もなく、あはれと申人もなければ、ほとけの給はん物をたべて、佛を師とたのみ奉て候なりとこたへければ、寺の僧共あつまり